

木のまた手紙
昔、あったげる。
娘が、山のむこうに嫁入
りしたって。年よりの母親
が、娘の顔が見たくて、字
を知らんども、木のまた五
つを紙にくるんで、木のま
た手紙を出したって。娘が
それをひらいて、
「お前また、なんでまた、
こねえまた、ちよっとまた



(19)

たより二題

水沢 謙

「これは、お前、なんで、こねえ、ちよっと、こいや。」と、さういって。ほうして、「里のおばあ、返事を書くころ。」
と、一枚の紙に、墨をまっくらけに、すきのないよう、にぬってやった。ばあは「そうか、いそがしくて、

村のズンドウという若いもんが、旅かせきに出た。母親が、「ズンドウは、どうしていいや」とおもて、字を知らんども、便りを出した。竹のズンドウ

ウ(つつ)に、豆をいれたり、コヌカを、ちと(すこ)し、いれたりしてやった。ズンドウは、「わかった、これは、ズンドウ、まめだか、ちと、こぬか(こないか)というの。だ。おれ、返事をやろう。」と、字を知らんズンドウが、便りを出した。それが、一枚の紙に、ただ、まっくらけに、墨がベタベタ、すきなくぬってあった。母親が、「わかった。うちへくるすきがねえってか。」
と、そんま、わかった。
(日本民俗学会評議員)



童話は子どもの心で…

角田さんを迎えて講演会

さる十一月六日に、新津市出身の児童文学者、角田光男先生を迎えて、「童話の心」と題した講演会が開かれました。
会場の図書館には、百人ほどの人が参加し、講演に聞き入っていました。
角田先生は「頭は白いですが心は子どもです」と言って笑われた

後「児童文学をやっているせいか、自分まで子どものような若い気持ちになりました。児童文学は、子どもと同じ気持ちになつて書かなければなりません。」などと一時間以上わたってユーモアを交えて講演されました。
ところで、角田先生の最新作が、先日、出版されました。作品名は「小さな小さな新聞社」というものです。
新津市で小さな新聞社を経営している父をもつ少年が主人公に設定されていて、一家が明日に向かって明るく生きていく様子を描いたものです。



「子どもの家」がオープン

さる11月4日、市では学童保育施設「子どもの家」の開所式を行いました。これは、学校から帰ってもだれもいないという小学校1年生から3年生の子どもたちを対象に、市民研修所を利用して放課後の生活指導などを行う事業です。入所した子どもたちは、いまのところ12名です。

(金沢町)

お買物、ご用命は市内で

冬の服装計画

素材を生かしたコート
組み合わせを楽しむチュニックスーツ



きむら洋装店

新津市本町3丁目2番15号 TEL 2-1495

住まいづくりの
設計から施工まで
誠意と技術で奉仕する



株式会社 木下組 一級建築士事務所

善道町1-3-14

一般住宅、店舗計画設計・土木・舗装



発足2年目で盆栽同様、大きく根をはった北上盆栽会の展示会(北上公会堂で)



飯柳盆庭会では、展示会と講習会もかねて「針金巻き」をしました



堀出神社での菊花展



文化祭風景



子どもたちの人気はバザーに集中(2小で)

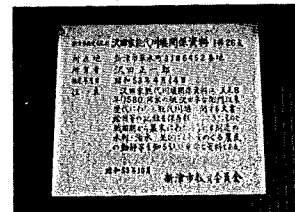
往時をしのぶ手がかりに

市文化財に説明板を設置

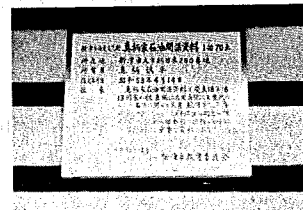
市教育委員会では、四月に文化財調査審議会の答申にもとづいて「妙蓮寺山門」ほか三件を市文化財に指定しました。このほど指定場所に説明板をとりつけました。機会がありましたら、現地をたずねて往時をしのぶ手がかりにしてみませんか。
市文化財は次の六つです。
煮坪、幸清水、妙蓮寺山門、蓮徳寺一切経、沢田家能代川堰関係資料、真柄家石油関係資料。



妙蓮寺山門
東島29番地の1



沢田家能代川堰関係資料
草草町3丁目6452番地



真柄家石油関係資料
柄目木 290番地



蓮徳寺一切経
西島 143番地

お買物、ご用命は市内で

《新発売》

にいつのふるさと「幸清水」を新しい感覚で開発しました

幸清水

1ヶ100円

小豆をフレッシュバターで焼いたケーキです
抹茶の香りのするケーキです
冷蔵庫で冷たくしてめしあがるとおいしいです
ホイルで焼いたため日持のよいケーキです
にいつ

OSAKAYA

ホーサカヤ

本町2 TEL 2-0112

